

学校教育目標	ひびきあい かがやく 洋一の子 ～豊かな心を持ち、仲間とともに、すすんで未来を拓く子を育てます～ 好奇心をもちながら、主体的に考え、学び続ける子を育てます。(知) 自分と周りの人を大切にし、思いやりの心をもった子を育てます。(徳) 自分の健康に関心を持ち、心身ともにたくましく生きる子を育てます。(体) 地域に目を向け、周りの人と協力して行動する子を育てます。(公) 違いを認め、誰とでも分かり合おうとし、共に生きていく子を育てます。(開)				
	学校概要	創立 52 周年	学校長 中村 智	副校長 澤田 圭美	2 学期制
児童生徒数: 567 人		主な関係校: 洋光台第一中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋光台第一中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><自分づくりに関する力></p> <p>自己肯定感 コミュニケーション まちを愛する態度・社会参画</p>	<p>洋光台第一中学校 洋光台第一小学校 洋光台第三小学校</p>	<p>①「洋光台のまち」を大切に子ども②自尊感情を高めていく子ども③楽しく学習に取り組む子ども</p> <p>①学校運営協議会をブロック合同で行い、互いの課題や重点研究の情報を共有し、地域で関わり合いながら、地域に貢献する子どもを育成する。②ブロック合同で人権研修を行い、他人の気持ちを考えて行動し、自尊感情を高めていく子どもを育成する。③9年間を見通したカリキュラムの作成や小中合同授業研究会を行い、小中一貫教育カリキュラムの授業を通し、主体的に学習に取り組む子どもを育成する。</p>

中期取組目標	<p>学校教育目標の実現に向けて、すべての子どもが豊かに学び、ともに高めあう学校づくり</p> <p>○分かる喜び、できる喜びを感じることでできる授業 ～確かな学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成～</p> <p>○一人ひとりの子どもが安全・安心に過ごすことができる教育環境 ～自尊感情、自己有用感を高める取組の推進～</p> <p>○家庭・地域と連携を図りながら、地域の教育力を活かす、開かれた学校</p> <p>○連携・協力して、一人ひとりの洋一の子を全教職で指導支援する教職員</p>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①国語科を重点研究として取り組み、興味をもって学習し、伝え合うことを通して、自他のよさに気付けるようにしたり、児童の振り返りの充実を継続的に行ったりしていく。②学習意識や自己意識を高めていくために、児童の強みや経験を生かし、日々の授業や行事等に対して、PDCAサイクルを意識して取り組めるようにする。
担当 重点研究推進委員会	
徳 人権教育	①子どもや学級の実態を把握するためにY-Pアセスメントを活用し、だれもが安心できる学級の風土づくりを目指す。②「特別の教科道徳」の充実を図るために、全学級の授業公開を年1回以上実施する。③人権目標を立て、PDCAサイクルを意識した取組や人権週間に取り組み、人権尊重の意識を高め、自尊感情の育成を目指す。
担当 人権・児童支援委員会	
体 健康教育	①体育的行事や1校1実践運動等、楽しく体を動かすことができる活動を行い、すすんで運動しようとする態度を育成する。②学校保健委員会の取組を通して、目の健康が大切なことを理解し、よい習慣を続けようとする態度を養う。③健康な体づくりには食との関わりがあることを知り、自分の食生活を見直そうとする態度を養う。
担当 健康・安全委員会	
公 自分づくり教育	①学習や学校行事等で、地域と連携したり、他者と関わったりする中で、自分の役割を意識できるようにする。②自分づくりパスポートなどで自分の活動を振り返ることを通して、自分自身の成長を実感したり、よさに気付いたりしながら、自ら意思をもって、判断していけるようにする。
担当 特活部(キャリア教育)	
いじめへの対応	①いじめはどこでも起こりうるという共通理解のもと、本校いじめ防止基本方針に則り、未然防止、初期対応にあたる。また、管理職を含めたいじめ防止対策委員会等、全教職員で共通理解を図る場を作り、組織的な対応力を高める。②教科分担任等を通して、より多くの教職員で児童を見守る体制をつくる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①運営委員会、三委員会、学年研等では、全職員が学校全体の状況を把握し、課題をとらえて改善・提案することで、学校経営への参画を自覚し、柔軟にフォローアップし合える組織運営を行う。②目標達成に向けて計画や実践、評価できる環境を整え、若手教員が自己有用感もてる人材育成を目指す。
担当 教務部	
特別支援教育	①UDを基本に、学習環境の整備と理解しやすい授業づくりを進める。②教科分担任等を生かし、複数の教職員が関われる体制をつくったり、全職員で連携を図り、一人ひとりの支援ニーズをつかんだり、第1学習ルーム、国際教室、第2学習ルームを利用し、安心して学習に取り組めるよう工夫する。
担当 人権・児童支援委員会	
地域学校協働活動	①地域協力者による出前授業や地域防災訓練等に積極的に児童と職員が参加し、地域との関わりを深める。②学校運営協議会で協議をし、地域やブロックの三校で協力し、地域の安全対策の充実を図る。③学校便り、ホームページなどを積極的に活用して教育活動について発信し、地域と連携していく。
担当 教務部	
担当	
担当	